

琉大病院に「がんセンター」があると聞きましたが、どんな仕事をしていますか。

(豊見城市 40代・女性)

琉大がんセンターの仕事は？



琉球大学医学部
琉大病院がんセンター長
増田 昌人

琉球大学医学部附属病院（以下、琉大病院）がんセンターは、次の仕事を主にしています。①がん相談支援室の運営・琉大病院の患者さんだけでなく、県民全てにがんに関する「よろず無料相談」をしています。②緩和ケア

室の運営・緩和ケアチームと緩和ケア外来の運営を行い、全てのがん患者さんの様々な苦しみを診断がついたその日から、和らげることに努めています。③外来化学療法室の運営・最近ではがんの治療は基本的に外来で治療し、手術など特別な場合だけ入院することが標準となってきましたので、外来での抗がん剤治療を行っています。④がん患者会の支援・毎月1回、琉大病院・宮古島市・

石垣市でそれぞれ「がん患者ゆんたく会」を行っています。

そのほかにも院内がん登録兼拠点病院データ解析室の運営や化学療法レジメン（治療方法）登録や審査、管理室の運営を行っています。

また琉大病院は地域拠点病院を支援する沖縄県がん診療連携拠点病院として、沖縄県全体のがん治療の質向上を目指しています。そのため「沖縄県がん診療連携協議会」とその下部組織である7つの部会の事務局をがんセンターが務めています。仕事の一部を紹介します。

Dr.の けんしん 見診

1、沖縄県のがん対策に関するタウンミーティングの企画と運営・4回の対話集会で得られた参加者からのがん対策に対する意見と患者会の要望の集大成として「沖縄県がん対策推進基本条

がんの無料相談や外来治療など

例（がん対策部会案）を作成しました。

2、五大がん（肺がん、胃がん、肝がん、大腸がん、乳がん）地域連携クリニカルパスの作成・運営・診療内容や治療の進み方を計画表の形にまとめたクリニカルパスを使ってがん治療の質を担保しながら、地域の診療所や病院でがん治療を継続できるように沖縄県全体の医療機関の連携作りを地域ネットワーク部会が行っています。

がんに関することは何でも気軽にお問い合わせ下さい。

がんセンター

☎ 098(895)1368

または協議会ホームページ

<http://www.okican.jp/>

ますたまさと 49歳。茨城県出身。琉球大学卒。1991年九州大学大学院に留学。92年沖縄最初の骨髄移植を行う。94年琉球大学大学院修了、医学博士。97年英国ウエールズ大学客員研究員。2007年から琉大病院がんセンター長

「Dr.の見診」では皆さんから病気や健康についての質問を受け付けています（100字以内）。はがき、FAXまたはメールでお寄せください。

kenshin@lequio.co.jp